

# 『福祉のまち、よこすか』をめざして

議会活動報告第11号  
2004年8月26日発行

## 美術館問題、さらに動きがありました！

美術館問題は続いています！

8月18日に行なわれる予定だった「美術館建築工事の入札」が中止・延期されたことがあらゆる新聞で報道されましたが、今日、さらに動きがありました。

やっと市長が市民と対話することになりました！

- ・日時：9月8日(水)18:00～19:30
- ・場所：横須賀市職員厚生会館(市役所の本庁舎そば)
- ・出席者：市側 沢田市長・副市長・教育長・美術館開設準備室長ら6名  
市民側代表として「民意が市政に活かされることを願う会」6名

昨年6月15日から、想いを同じくする市民の方々と共に署名活動を行ってきました。そんな活動の中で生まれたのが「民意が市政に活かされることを願う会」です(<http://www.mininokai.jp>)。横須賀市民43万人の「6分の1」にもあたる約7万人もの署名をいただきましたが、彼らはその署名を必死に集めてくれました。署名をしてくれたみんなの想いを必ず代弁してくれます。市民のすなおな想いは「今、そんなに巨額の税金を使って美術館を建てる必要は無い」なのです。この市長側との話し合いにどうか注目しててください！

## 美術館問題について(初めて知る方々へ)

立候補した時から一貫して僕は今回の美術館建設に反対してきました。観音崎に横須賀市の芸術家の作品ばかりを集めた美術館を建てる計画があるのです。建設には約50億円、完成後は運営費として毎年3億円の赤字が出る計画です。このまちにはもっと優先順位の高い「やるべきこと」が今たくさんあります。にもかかわらず、こんなに税金を使う必要があるのか。そして、観音崎の走水園地という桜の名所を壊してそこに美術館を建てようとする、これは横須賀らしさを壊すものではないか。そう訴えてきました。さらに詳しい経緯は藤野HPをご覧ください([www.hide-fujino.com](http://www.hide-fujino.com))。

横須賀市議会議員  
無所属 民生常任委員会

おれを、こきつかえ！

ふじの ひであき

藤野 英明 30才



## 政治家フジノのゴール

1. 10年間で自殺者ゼロのまちへ
2. 精神保健福祉(こころの健康)をもっともっと改善する
3. お母さんと子どもが健やかに暮らせるまちへ
4. 高齢の方々もいつまでも笑顔で暮らせるまちへ
5. 障がいがあっても無くてふつうに暮らせるまちへ
6. そのために、すべての税金のムダづかいをカットする
7. 今この瞬間に苦しんでいる人の声に耳を傾ける

<フジノの独り言>今回は「とにかく早く伝えたい」ために印刷を片面だけの速報版とさせていただきました。これまで市は10回にわたって「美術館トーク」という「口先だけの市民との対話」を行ないましたが、市長は1度も出席しませんでした。議会でもこの点を僕は厳しく追及しましたが今回ついに市長が市民との対話を行なうことになりました。1年半もかかりましたが、諦めなければ必ずこのまちは変わります！